

2010.1.30 (土) 曇り時々晴れ 御池岳 個人 (SHメンバー8)



御池谷林道にはいる

758 林道分岐① 954 県境尾根⑤ 1041 鈴北岳 1158-1250 御池岳 1319 ボタンブチ 1417 鈴北岳 1430 尾根分岐⑥ 1524 御池谷⑦ 1551 林道分岐 (駐車地点)



御池林道と別れ、左へ ②



鞍掛峠の標識②



巡視路にはいる③



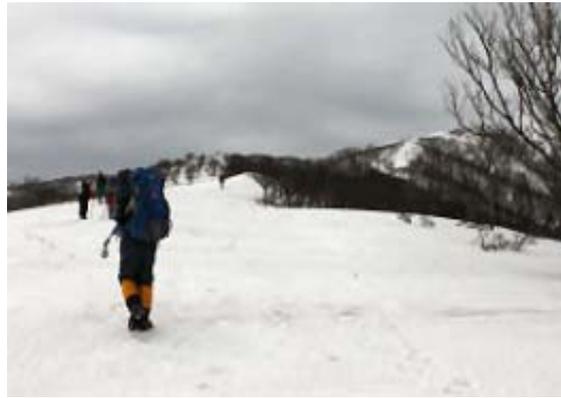
鉄塔④

SHメンバーの御池への企画に参加。冬場にどのように御池岳・丸山に行けるのかが関心事であった。

行きは巡視路を活用して、県境稜線に。帰りはP1056の手前(南)の尾根を御池谷に下るコースとなった。いずれも急なコースであった。雪は多くなく、行きは鈴北と御池の間でワカンを装着、帰りは鈴北でワカンをはずした。



急な坂を終えるとゆるい勾配に



県境稜線を行く



鈴北山頂



御池岳に向かう



御池山頂・昼食



奥ノ平を目指す

樹氷というより霧氷の方が適切な表現だと思われるが、御池岳の山頂付近にみる事ができた。青空は時々数分単位でみることができたが、ほとんどは曇りであった。周辺の近い山、特に霊仙はくっきりと見ることはできたが、さすがに雪の量が少ないのか、黒い部分が目立つ山容であった。



奥ノ平を経てポタンブチに



御池を左に巻いて鈴北に戻ろう



手前の尾根を降りて御池谷に⑦



踏み跡もある御池谷

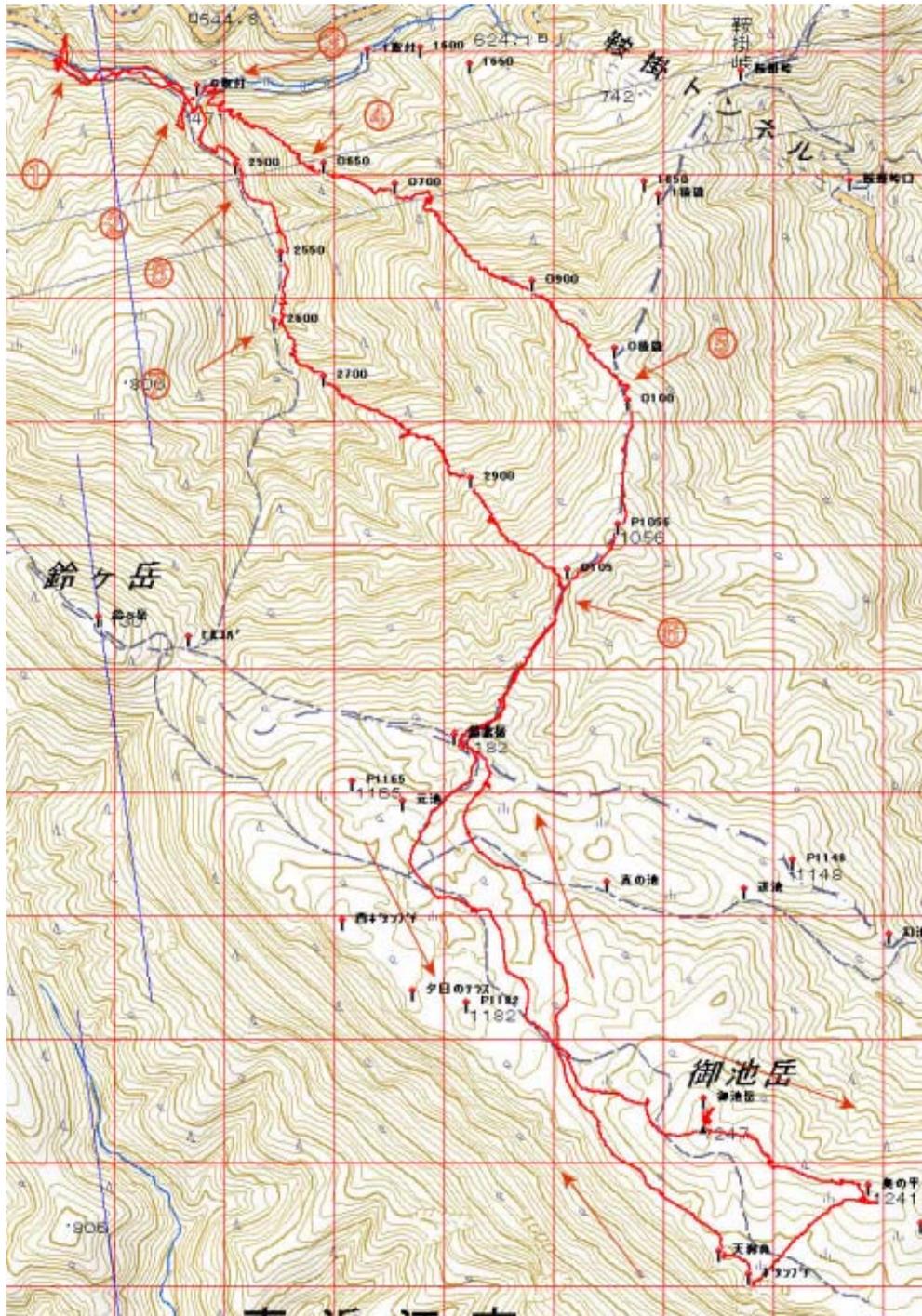


御池谷林道の終点？ ⑧



林道の二又に戻る③

今回は暖かいとの予報であったのでお湯持参でラーメンを作ったのだが、芯の残るラーメンとなった。やはり、ガスは持参すべきであったと反省。
この山行を企画した SH メンバーに感謝します。雪は少ないものの、霧氷の御池岳は最高でした。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

[トップページ（おじさんの山旅4）に戻る](#)